

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2015年5月）議事録

日時：2015年5月15日(金)午後5時30分～7時30分

場所：AP東京八重洲通り Gルーム

議長：下光輝一理事長

出席者：下光輝一、碓井外幸、大野 誠、小野寺昇、川久保清、栗原 敏、坂本静男、定本朋子、鈴木政登、武政 徹、竹森 重、田中喜代次、田畑 泉、鳥居 俊、永富良一、西平賀昭、浜岡隆文、福永哲夫、山内秀樹、吉岡利忠（各理事）、管原正志（第69回大会長・長崎）、田島文博（第70回大会長・和歌山）、和気秀文（第70回大会プログラム委員長・和歌山）、立身政信（第71回大会長・岩手）

欠席者：荒尾 孝、勝村俊仁、川原 貴、下村吉治、田中宏暁（各理事）、小林康孝、能勢 博（各監事）

【審議事項】

1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。

2. 平成27年度決算見込みについて（小野寺財務委員）

資料に基づき、平成27年度決算見込みについて報告があり、正式な決算は8月の理事会で報告予定であると説明された。

3. 平成28年度予算案について（小野寺財務委員）

資料に基づき、法人3期目（2015年8月1日～）となる平成28年度予算案について報告があり、例年と異なった点として、平成28年度は平成27年度に実施しなかった名簿作成を行い、その費用を予算に組み込んでいる点、また現状の予算案では1,000万以上の赤字のため、赤字の補てん分として別途積立金預金を取り崩す予定であると説明がなされた。引き続き費用削減や収入増加の方法について検討を行っていくと報告がなされ、審議の結果、承認された。

4. 平成28年度事業計画案について（小野寺総務委員長）

資料に基づき、平成28年度事業計画案について報告があり、審議の結果、本理事会で修正の出た事項を更新する事を前提に承認された。

5. 学会賞について（竹森学会賞選考委員長）

学会賞選考委員会からの提出資料に基づき、審査経過ならびに審査結果が報告された。5月8日に開催された委員会において、学会賞（体力科学）については、学会誌のさらなるレベルアップによる学会の活性化を呼びかける強いメッセージとして授賞を見送る事にした点および学会賞（JPFMSM）、奨励賞については、下記2編の論文を各学会賞に選考したことが報告され、承認された。

【学会賞（JPFMSM）】※対象論文数 8編

◎「Post-exercise taurine administration enhances glycogen repletion in tibialis anterior muscle」(3巻5号) Yumiko Takahashi, Yutaka Matsunaga, Yuki Tamura, Eiki Urushibata, Shin Terada and Hideo Hatta

【奨励賞】※対象論文数 体力科学 19編, JPFMSM 7編

◎「肥満男性における食事改善、有酸素性運動、食事改善と有酸素性運動の併用が中心および末梢動脈ステイフネスに与える影響」(体力科学63巻3号)

膳法（宮木）亜沙子、蘇 リナ、熊谷 仁、田中喜代次、下條信威、前田清司

6. 受動喫煙防止のための活動に関する御意向確認について（小野寺総務委員長）

本学会が加盟している健康日本21推進全国連絡協議会より「受動喫煙防止のための活動に関する御意向確認について」の文書が届いたと報告があった。内容は受動喫煙防止活動に賛同してほしい旨の依頼であり、審議の結果、受動喫煙防止活動に賛同することとし、先方に伝えることとなった。

7. その他

1) 日本医学会連合の選挙について（小野寺総務委員長）

本学会が加盟している日本医学会連合が選挙の年にあたり、現在選挙運動がされていると報告があった。他団体から立候補のあった候補者の推薦団体にはならない事、投票に際しては理事長に一任する事について提案があり、審議の結果、承認された。

2) 理事候補について（小野寺総務委員長）

理事は25名以内と定款で定められており、選挙で選ばれた24名に後1名加えることが出来ると説明がなされた。今回の選挙で女性が1人も候補者に入らなかったため、残り1名の枠を理事長推薦枠として、女性の理事候補者を推薦したいと提案がなされた。審議の結果、承認され、9月の理事会前までに候補者を検討し、理事会で諮ることとした。

【報告事項】

1. 理事選挙結果の報告及び役員選挙の進捗状況（西平選挙管理委員長）

資料に基づき、理事選挙で当選された方が報告された。また、今後の選挙スケジュールについて、前倒しできる箇所を前倒しして進めたいと提案があり、審議の結果、承認された。

2. 各種委員会報告

1) 総務委員会（小野寺委員長）

資料に基づき、前回理事会で指摘のあった委員会規程のかつこ表記を統一したと報告された。

また、来年度より大塚製薬株式会社が賛助会員として入会されると報告された。

2) 編集委員会（鈴木委員長）

編集委員会報告として配布資料が配られ、以下の

通り報告された。

- ・論文末に記載する“利益相反”に関する記載事例について、原著論文等に関する自己申告による利益相反申告書（様式1）に記載されている“利益相反状態”に該当しない場合でも、①共同研究者に企業の研究員が含まれている、②ある企業が制作した器具・装置等を用いた研究で、その制作に携わった方が共同研究者である、③利益相反申告書に記載されている“利益相反状態”に該当しない額の研究費を企業から受領して行った研究、など様々なケースが生じていると報告があり、論文末の記載様式について議論がされたが、本理事会では結論には至らず、編集委員会で議論を重ねる事となった。
- ・その他、JPFISM、体力科学誌の投稿・記載状況、現在の委員会の担当巻号数が報告された。

3) 学術委員会

- ・プロジェクト研究委員会（田中（喜）委員長）
4月末を応募メ切と設定していたプロジェクト研究について、現在委員会で審議中で8月の理事会に結果報告をする予定であると報告がなされた。

4) 渉外委員会（永富委員長）

渉外委員会報告として配布資料が配られ、以下の通り報告された。

- ・2016ECSS-JSPFSM交流シンポジウムに推薦した福典之会員（順天堂大学）の企画案がECSSプログラム委員会に採択が決定した。
- ・2015ACSM参加助成者2名が決定し、学会HPに掲載を行った。
- ・ACSM参加助成制度について会員アンケートを実施し、改革を検討する予定。
- ・EIMについて賛否両論が出ており、渉外委員会の下部組織としてEIM検討小委員会を設置し、検討を続けることとなった。
- ・「脳心血管疾患予防に関する包括的リスク管理チャート」について、9の内科系学会と日本疫学会、本学会が合同で作成した表記チャートが日本内科学会誌に掲載された解説論文とともに、日本内科学会雑誌2015年4月号に掲載されプレスリリースが実施された。
- ・ECSS 2015 Malmö大会（6/24-27）ECSS-JSPFSM交流シンポジウムが6/26 16:20より開催予定で、本学会より藤田聡会員（立命館大学）と永富良一渉外委員会委員長が講演予定。

5) 広報委員会（武政委員長）

英文版の学会HPを本日（5/15）付でリニューアルした旨が報告された。

6) プログラム委員会（小野寺総務委員長）

配布資料に基づき、日本スポーツ体育健康科学学術連合第1回大会における合同シンポジウム企画案の説明がなされ、テーマ「東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ普及による健康増進戦略を考える」、座長に荒尾孝プログラム委員長と山口泰雄先生（神戸大学）、演者は現在交渉中と報告がなされた。

日 時：2015年8月24日（月）13:45～16:00

場 所：国土舘大学

また、第70回大会の理事会企画プログラムについて、テーマ「社会的成果を生み出す介護予防－ミクロとマクロの研究連携！」を実施する予定であると報告がなされた。

7) 倫理委員会（坂本委員長）

本日、日本医学会の研究倫理教育研修会に参加した旨、報告がなされた。

3. 第69回（長崎）大会の大会報告について

（菅原第69回大会長）

資料に基づき、大会収支決算について報告があり、黒字決算で本部に406,557円を戻した旨、報告がなされた。

4. 第70回大会（和歌山）の準備状況

（田島第70回大会長、和気第70回プログラム委員長）

配布資料により、大会のプログラムや準備状況等について報告があった。

会 期：2015年9月18日（金）-20日（日）

会 場：和歌山県民文化会館、

ホテルアバローム紀の国

テーマ：げん紀の国 和歌山

～オリンピック・パラリンピックのスポーツ
医科学と健康増進体力医学の融合～

5. 第71回大会（岩手）の準備状況について

（立身第71回大会長）

大会の準備状況等について報告があった。

会 期：2016年9月23日（金）-25日（日）

会 場：マリオス、アイーナ